

## 巻頭言

### ■ 徳島大学創立70周年を迎えて



徳島大学薬学部長

佐野 茂樹

Shigeki Sano

1 1947年（昭和22年）に制定された学校教育法に基づく教育機関の再編により、新制大学として徳島大学が誕生したのは1949年（昭和24年）5月31日のことです。徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医科大学、徳島医学専門学校、徳島高等学校、徳島工業専門学校の6つの旧制学校が徳島大学設立の母体となりましたが、徳島大学薬学部は徳島工業専門学校の前身である徳島高等工業学校の1922年（大正11年）10月の創立時に設置された応用化学科製薬化学部を発祥とすることは、薬学部だより vol.23の巻頭言に書かせていただきました。

徳島大学創立70周年を迎えた

2019年（令和元年）の開学記念日（11月2日）には、蔵本と常三島の両キャンパスにおいて大学祭が開催される中、ホームカミングデーとしてオープニングセレモニーと記念講演会、薬学部の薬友会をはじめとする各学部の同窓会による多彩なイベントなどが行われました。翌3日には、創立70周年記念講演会、記念式典、記念祝賀会がJR ホテルクレメント徳島を会場として挙行されました。記念式典と祝賀会へはモンゴル国立医科大学、大連理工学、東國大学の3つの海外学術交流協定校からもご臨席を賜りました。東國大学校（大韓民国）との大学間の学術交流協定は2019年（平成31年）4月に締結されたばかりですが、東國大学校薬学大学と徳島大学薬学部は2012年（平成24年）の部局間協定締結から7年に及ぶ学術交流の実績を積み上げています。このたびは、1990年（平成2年）のソウル大学校薬学大学との部局間学術交流協定の締結以来、徳島大学薬学部との国際交流の推進に長年にわたり多大なるご尽力をいただいた Moon Woo Chun 教授（Professor Emeritus of Seoul National University, Chair Professor

of Dongguk University）と2019年（令和元年）5月に東國大学校薬学大学の学部長に就任された Chang Hoon Lee 教授（Dean of College of Pharmacy, Dongguk University）をお招きしました。そして、久しぶりにお会いした両先生との旧交を温めるとともに、今後の学術交流について意見を交換することができました。日韓関係はたいへん厳しい状況にあります。東國大学校薬学大学との国際交流を倦まず弛まず進めるべきとの思いを新たにしました次第です。

2019年（令和元年）5月に1法人複数大学制（アンブレラ方式）を可能とする改正国立大学法人法が成立し、2020年（令和2年）4月には名古屋大学と岐阜大学を経営する新たな国立大学法人「東海国立大学機構」の設置が予定されるなど、国立大学法人の統合・再編という話題を耳にすることが多くなりました。18歳人口の減少が続く中、そう遠くない将来に徳島大学の新たな姿を見ることになるかもしれません。徳島大学の輝く未来のため、みなさんとともに薬学部としての確かな道を切り拓きたいと願っています。